平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月1日

上場会社名　株式会社 永谷園　　上場取引所　東
コード番号　2899　URL　http://www.nagatanien.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 永谷　泰次郎
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長　(氏名) 松村　雅彦　TEL 03-3432-2511

四半期報告書提出予定日　平成25年2月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	53,075	3.7	3,826	△16.3	3,910	△16.0	2,318	△9.3
24年3月期第3四半期	51,192	△0.7	4,573	32.4	4,654	34.9	2,556	30.0

(注)包括利益　25年3月期第3四半期　2,459百万円　(△6.8%)　24年3月期第3四半期　2,637百万円　(69.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	60.91	―
24年3月期第3四半期	67.10	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	55,797	26,650	47.6
24年3月期	56,325	24,781	43.9

(参考) 自己資本　25年3月期第3四半期　26,577百万円　24年3月期　24,725百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	7.75	―	7.75	15.50
25年3月期	―	7.75	―		
25年3月期(予想)				7.75	15.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	68,400	2.1	3,400	△19.6	3,450	△19.1	1,950	3.3	51.23

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無
(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	38,277,406 株	24年3月期	38,277,406 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	218,634 株	24年3月期	218,324 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	38,058,721 株	24年3月期3Q	38,099,929 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
なお、業績予想に関する事項は、(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間における我が国の経済は、震災復興需要による緩やかな景気回復の兆しが見られたものの、欧州経済の不振や中国をはじめとする新興国の成長鈍化、長期化する円高懸念などを背景に先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く市場環境も不安定な雇用環境や消費税増税が見込まれることによる消費者の生活防衛意識の高まりから、より低価格志向が強まるとともに、企業間では熾烈な販売競争が繰り広げられ、さらに流通業界における再編が加速するなど、依然として厳しい状況が続きました。

このような経営環境の下、当社グループにおきましては、当期の経営課題である「既存カテゴリーのシェアアップ」「新価値提案力のさらなるアップ」を中心とした各施策に取り組んでまいりました。

「既存カテゴリーのシェアアップ」につきましては、お茶づけ・ふりかけ類において、当社の基幹商品である「お茶づけ海苔」が発売60周年を迎え、炊飯専用土鍋を景品とする消費者キャンペーンを実施し、お茶づけ市場の活性化を図ってまいりました。

スープ類においては、みそ汁カテゴリーの基幹商品である「生みそタイプあさげ」シリーズが順調に売上を獲得いたしました。加えて、今秋に発売したフリーズドライ製法のブロックタイプ即席みそ汁「味噌汁庵」やメニューが選べる大容量タイプ「永谷園の24食のおみそ汁」により、同カテゴリーのシェアアップに努めてまいりました。

「新価値提案力のさらなるアップ」につきましては、平成24年２月に「時間や手間をかけずにメインのお肉料理が簡単にできる」というコンセプトで発売した「お肉マジック」シリーズが、消費者の支持を受けて順調に売上を伸ばし、日本食糧新聞社の平成24年度食品ヒット大賞にて「優秀ヒット賞」を受賞いたしました。加えて、「１杯でしじみ70個分のちから」シリーズに続く機能性みそ汁である「脂っぽい料理に 黒豆のちからみそ汁」が堅調に売上を獲得いたしました。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間の業績は、売上高530億75百万円（前年同期比3.7%増）、営業利益38億26百万円（同16.3%減）、経常利益39億10百万円（同16.0%減）、四半期純利益23億18百万円（同9.3%減）となりました。当第３四半期連結累計期間の売上高・利益における前年同期との差異につきましては、前年の業績が東日本大震災の影響によるものであり、当期の業績については、概ね当初計画の範囲内で推移しております。

なお、当社グループは食料品事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より５億28百万円減少し、557億97百万円となりました。これは主に、現金及び預金が増加したものの、受取手形及び売掛金、原材料及び貯蔵品が減少したことによるものです。また負債は、前連結会計年度末より23億98百万円減少し、291億46百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が増加したものの、短期借入金及び未払法人税等が減少したことによるものです。また、純資産は主に、利益剰余金が増加したことにより266億50百万円となりました。この結果、純資産から少数株主持分を控除した自己資本は265億77百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ3.7ポイント上昇の47.6%となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの第３四半期連結累計期間の業績は、売上高・利益とも概ね当初計画の範囲内で推移していることから、平成24年５月11日発表の通期業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第３四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ16百万円増加しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,208	7,555
受取手形及び売掛金	12,850	12,370
有価証券	100	―
商品及び製品	2,870	2,933
仕掛品	441	406
原材料及び貯蔵品	3,813	3,347
その他	1,081	1,101
貸倒引当金	△4	△6
流動資産合計	28,359	27,708
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,468	14,513
減価償却累計額	△9,137	△9,151
建物及び構築物（純額）	5,331	5,362
機械装置及び運搬具	12,140	12,590
減価償却累計額	△9,443	△9,827
機械装置及び運搬具（純額）	2,696	2,763
土地	11,127	11,197
リース資産	1,754	2,068
減価償却累計額	△730	△983
リース資産（純額）	1,024	1,084
建設仮勘定	62	115
その他	1,816	1,767
減価償却累計額	△1,514	△1,444
その他（純額）	302	323
有形固定資産合計	20,544	20,846
無形固定資産		
のれん	46	23
その他	117	138
無形固定資産合計	163	161
投資その他の資産		
投資有価証券	5,537	5,513
その他	1,815	1,665
貸倒引当金	△95	△98
投資その他の資産合計	7,257	7,080
固定資産合計	27,965	28,088
資産合計	56,325	55,797

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,056	7,595
1年内償還予定の社債	－	7,000
短期借入金	3,631	1,898
未払法人税等	1,273	316
賞与引当金	497	194
その他	6,185	6,676
流動負債合計	18,643	23,679
固定負債		
社債	7,000	－
長期借入金	2,785	2,410
退職給付引当金	545	652
資産除去債務	51	52
その他	2,517	2,351
固定負債合計	12,900	5,467
負債合計	31,544	29,146
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,502	3,502
資本剰余金	6,509	6,509
利益剰余金	18,215	19,943
自己株式	△182	△182
株主資本合計	28,045	29,773
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△16	107
土地再評価差額金	△3,303	△3,303
その他の包括利益累計額合計	△3,319	△3,195
少数株主持分	55	73
純資産合計	24,781	26,650
負債純資産合計	56,325	55,797

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	51,192	53,075
売上原価	27,526	28,835
売上総利益	23,666	24,240
販売費及び一般管理費		
販売促進費	8,477	9,183
賞与引当金繰入額	99	101
その他	10,515	11,128
販売費及び一般管理費合計	19,092	20,413
営業利益	4,573	3,826
営業外収益		
受取利息	3	1
受取配当金	114	103
不動産賃貸料	85	92
その他	122	88
営業外収益合計	325	285
営業外費用		
支払利息	109	97
その他	135	104
営業外費用合計	244	201
経常利益	4,654	3,910
特別利益		
受取保険金	94	－
災害損失引当金戻入額	54	－
特別利益合計	148	－
特別損失		
災害による損失	30	－
固定資産除却損	－	85
投資有価証券評価損	408	219
会員権評価損	31	99
社葬費用	31	7
特別損失合計	501	412
税金等調整前四半期純利益	4,301	3,497
法人税等	1,736	1,162
少数株主損益調整前四半期純利益	2,564	2,335
少数株主利益又は少数株主損失（△）	7	17
四半期純利益	2,556	2,318

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	2,564	2,335
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	124
土地再評価差額金	70	－
その他の包括利益合計	72	124
四半期包括利益	2,637	2,459
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,630	2,442
少数株主に係る四半期包括利益	7	17

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,301	3,497
減価償却費	1,172	1,178
のれん償却額	23	23
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△11	4
賞与引当金の増減額（△は減少）	△296	△302
退職給付引当金の増減額（△は減少）	95	106
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△50	－
災害損失引当金の増減額（△は減少）	△324	－
受取利息及び受取配当金	△117	△104
支払利息	109	97
受取保険金	△94	－
投資有価証券売却損益（△は益）	－	0
投資有価証券評価損益（△は益）	408	219
その他の営業外損益（△は益）	2	△5
その他の償却額	12	17
有形固定資産除売却損益（△は益）	31	81
会員権評価損	31	99
売上債権の増減額（△は増加）	△636	479
たな卸資産の増減額（△は増加）	△786	436
仕入債務の増減額（△は減少）	723	539
未払金及び未払費用の増減額（△は減少）	583	△50
未払消費税等の増減額（△は減少）	51	137
その他の資産・負債の増減額	△77	△7
小計	5,151	6,448
利息及び配当金の受取額	117	106
利息の支払額	△105	△94
保険金の受取額	273	－
法人税等の支払額	△1,075	△2,123
法人税等の還付額	0	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,361	4,337

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△18	△16
定期預金の払戻による収入	－	30
有形及び無形固定資産の取得による支出	△708	△1,147
有形固定資産の売却による収入	9	5
有価証券の償還による収入	－	100
関係会社貸付けによる支出	△92	－
投資有価証券の取得による支出	△7	△8
投資有価証券の売却による収入	1	4
子会社株式の取得による支出	△92	－
差入保証金の差入による支出	△2	△3
差入保証金の回収による収入	30	8
その他	△11	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△890	△1,033
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△3,200	△1,700
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△245	△290
長期借入金の返済による支出	△472	△408
自己株式の純増減額（△は増加）	△45	△0
配当金の支払額	△519	△543
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,482	△2,943
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,011	360
現金及び現金同等物の期首残高	8,183	7,176
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,171	7,537

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。